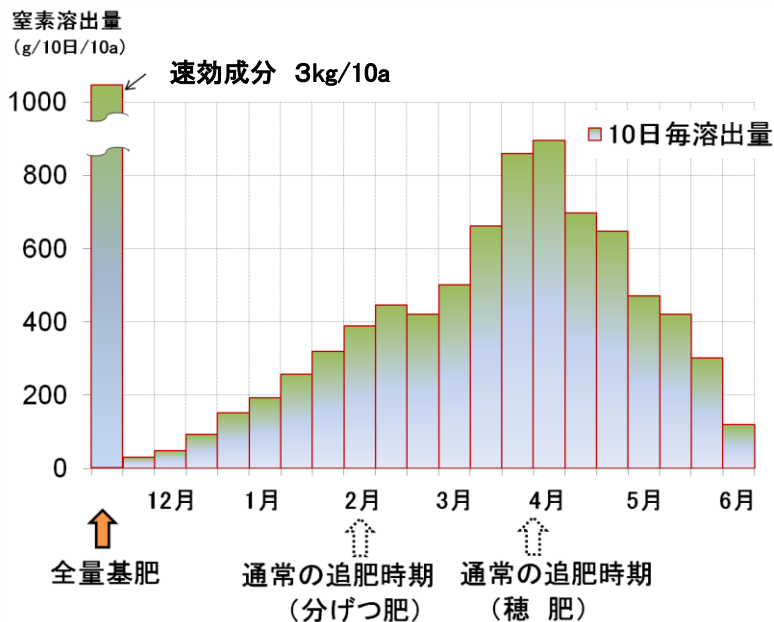


# 県産ビール大麦の品質向上に 役立つ全量基肥肥料の開発



県南部ビール大麦圃場



開発肥料からの窒素の溶出パターン

## 開発のねらい

ビールの原料となる大麦では、蛋白含量の向上が大切で、追肥により生育後半に窒素を効かす必要があります。追肥は天候や労力面から適期に行いにくいいため、基肥でも追肥と同じように窒素が効いてくる県産ビール大麦専用の全量基肥肥料を開発しました。

## 新技術の概要

- 岡山県南部のビール大麦栽培において、蛋白含量をあげるために効果的な被覆肥料の配合割合を明らかにしました。
- この配合割合を基に、追肥が不要な全量基肥肥料(通常タイプと窒素増量タイプの2種類)が肥料メーカーから商品化されました。
- 開発した肥料を用いたビール大麦「ミハルゴールド」の栽培試験では、収量と蛋白含量の向上が認められました。

## 活用場面

ビール大麦の蛋白含量が向上することにより、ビール原料としての需要が高まり、生産農家の収益性が向上するとともに、ビール大麦産地としての発展につながります。